

鶏肉の支出金額は全国第1位

～平成18年 家計調査年報～

総務省統計局から公表されている、平成18年家計調査年報から、福岡市の二人以上の勤労者世帯について概要を紹介します。

1. 家計調査とは

家計調査は、単身の学生などの世帯を除く全国の世帯を対象に、日々の家計収支を家計簿に記入する方法で行われます。調査世帯は抽出により選定され、二人以上の世帯については、全国168市町村の8,076世帯が対象となっています。調査世帯は6か月間継続して調査され、毎月6分の1ずつが新たに選定された世帯と入れ替わっていきます。昭和21年7月から約60年間続いているこの調査は、国の最も基本的な調査の一つであり、調査結果は、国の経済政策・社会政策の立案や分析などに利用されています。

平成18年の福岡市の二人以上の世帯の調査対象は91世帯、そのうち「勤労者世帯」は46世帯です。(集計世帯数が少ないため、

標本誤差等、結果の利用には注意が必要です。)

2. 福岡市の勤労者世帯の収支

福岡市の勤労者世帯、いわゆるサラリーマン世帯の1ヶ月の平均収入(実収入)は456,020円で、前年に比べ5.3%の減少となりました。このうち世帯主の収入は400,282円で、実収入の87.8%を占めています。(表1, 図1)

これに対して実支出は404,450円と、前年に比べ3.5%の上昇となりました。全国平均は実収入が525,719円(対前年増加率+0.2%)とわずかに上昇、実支出は404,502(同△2.0%)と減少しており、福岡市と全国とでは対照的な結果となりました。

消費支出、いわゆる1ヶ月の平均の生活費は328,143円と、前年に比べ2.4%の増加となっています。収入が減少し、支出が増加しているため、黒字は51,570円(同△43.2%)と大きく減少しました。

(家計調査の中に出てくる主な用語の説明)

世帯	<p>住居及び家計を共にしている人の集まりをいい、学生の単身世帯を除く。家計費に充てるための主たる収入を得ている人を世帯主として、世帯主の職業により次のように区分している。</p> <p>勤労者世帯(世帯主が会社、官公庁、学校、工場、商店などに勤めている)</p> <p>勤労者以外の世帯 { 個人営業世帯(世帯主が商人、職人、個人経営者) その他の世帯(世帯主が法人経営者、自由業者、無職)</p>
実収入	世帯主を含む世帯全員の現金収入(税込み)を合計したもの。1か月の平均収入は、賞与等も含めた年間の収入を12か月で割った平均値。
実支出	「消費支出」と「非消費支出」を合計した支出。
消費支出	いわゆる生活費のことであり、日常の生活を営むに当たり必要な商品やサービスを購入して支払った現金支出及びカード、商品券を用いた支出金額。
非消費支出	税金や社会保険料など世帯の自由にならない支出及び借金利子。
可処分所得	「実収入」から「非消費支出」を差し引いた額で、いわゆる手取り収入。
黒字	「実収入」と「実支出」との差。「可処分所得」から「消費支出」を差し引いた額とも同じ。
エンゲル係数	消費支出に占める食料費の割合。一般にはエンゲル係数が低いほど、生活水準が高いとされる。

図1 福岡市の家計収支の状況（平成18年，勤労者世帯）

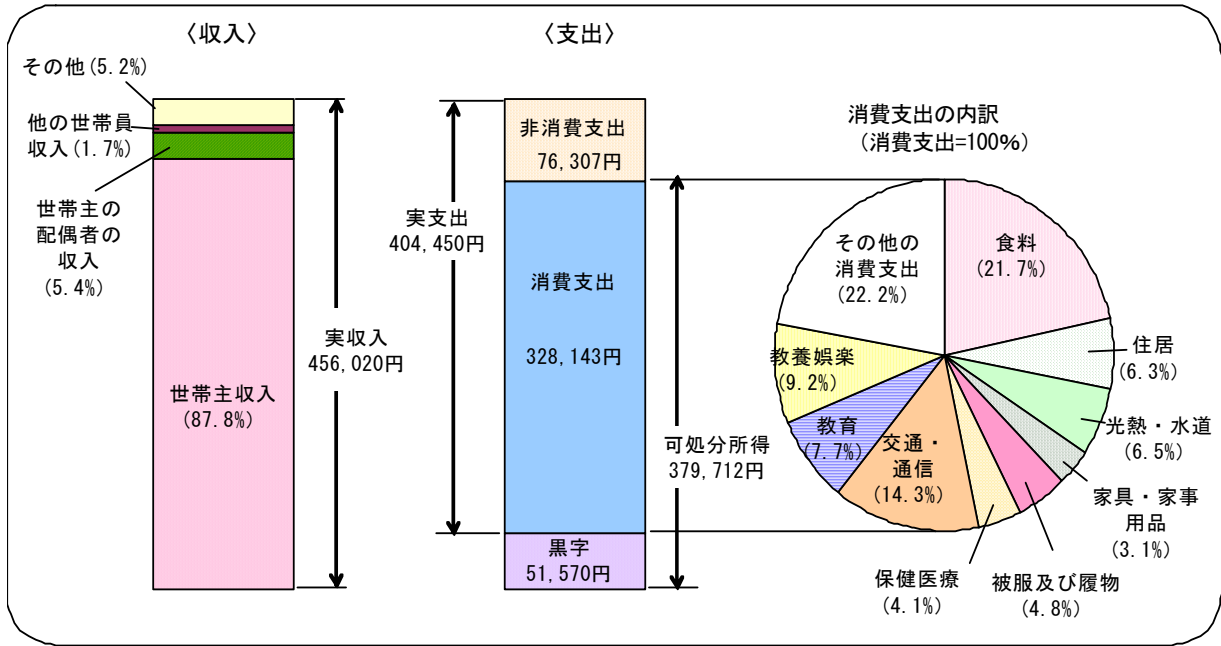


表1 1世帯あたり月平均の収入と支出（勤労者世帯）

(単位：円)

項 目	福 岡 市			全 国		
	平成17年	平成18年	増減率 (%)	平成17年	平成18年	増減率 (%)
集計世帯数	53	46		4 381	4 289	
世帯人員 (人)	3.59	3.41		3.46	3.43	
有業人員 (人)	1.53	1.66		1.66	1.67	
世帯主の年齢 (歳)	45.1	47.8		46.9	47	
実収入	481,605	456,020	△ 5.3	524,585	525,719	0.2
經常収入	476,046	450,167	△ 5.4	514,628	516,469	0.4
勤め先収入	455,594	432,421	△ 5.1	493,829	495,003	0.2
世帯主収入	407,935	400,282	△ 1.9	425,706	431,284	1.3
世帯主の配偶者の収入	37,723	24,573	△ 34.9	57,338	53,346	△ 7.0
他の世帯員の収入	9,937	7,566	△ 23.9	10,785	10,373	△ 3.8
事業・内職収入	2,924	2,580	△ 11.8	2,735	2,780	1.6
農林漁業収入	0	0	0.0	104	36	△ 65.4
他の經常収入	17,528	15,166	△ 13.5	17,959	18,649	3.8
特別収入	5,559	5,852	5.3	9,957	9,249	△ 7.1
実支出	390,738	404,450	3.5	412,928	404,502	△ 2.0
消費支出	320,465	328,143	2.4	329,499	320,231	△ 2.8
食料	67,641	71,306	5.4	70,947	69,403	△ 2.2
住居	31,802	20,767	△ 34.7	21,839	20,292	△ 7.1
光熱・水道	21,204	21,362	0.7	21,328	21,998	3.1
家具・家事用品	9,415	10,307	9.5	10,313	9,954	△ 3.5
被服及び履物	14,042	15,659	11.5	14,971	14,430	△ 3.6
保健医療	9,514	13,325	40.1	12,035	11,463	△ 4.8
交通・通信	42,507	47,002	10.6	46,986	45,769	△ 2.6
教育	19,796	25,296	27.8	18,561	18,713	0.8
教養娯楽	32,408	30,351	△ 6.3	32,847	31,421	△ 4.3
その他の消費支出	72,135	72,769	0.9	79,671	76,786	△ 3.6
非消費支出	70,273	76,307	8.6	83,429	84,271	1.0
可処分所得	411,332	379,712	△ 7.7	441,156	441,448	0.1
黒字	90,868	51,570	△ 43.2	111,657	121,217	8.6
エンゲル係数 (%)	21.1	21.7	2.8	21.5	21.7	0.9

3. 家計消費の推移

図2は、福岡市の可処分所得、消費支出、及び黒字の平成元年からの推移を表したものです。可処分所得（手取り収入）は、平成6年に494,826円と最高値を記録しましたが、その後減少傾向にあり、平成18年は379,712円まで減少しています。

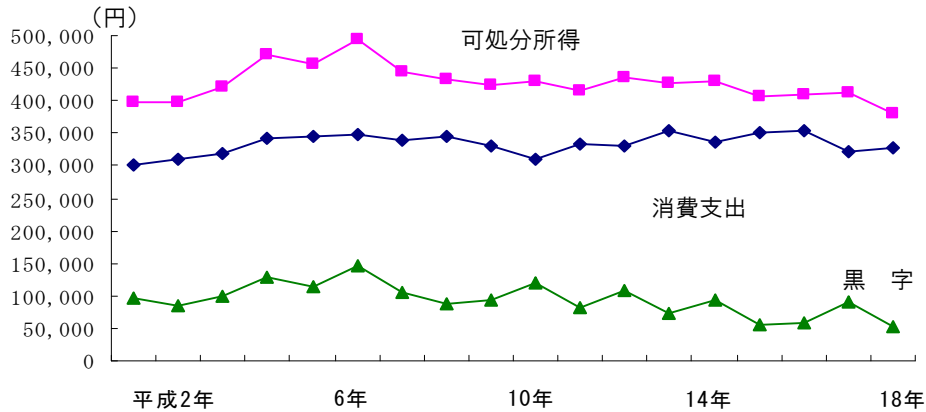
黒字は、可処分所得と似た動きをしており、同じく平成6年の146,439円が最高値で、やはり近年は減少傾向にあります。

消費支出（生活費）は、平成6年までは緩やかに上昇し、平成10年に一旦減少したものの、その後は32万～35万台とほ

ぼ横ばいで推移しており、収入は減っているのに支出は変わらない状態が続いています。

図3は、消費支出に占める食料費の割合を示すエンゲル係数の、昭和40年から5年ごとの推移を表したものです。一般にエンゲル係数が低いほど生活水準が高いといわれますが、図を見ますと、昭和40年の35.8%から、生活水準の向上に伴い低下が続き、平成になってからは25%を下回りました。しかし近年は大きな変化はなく、全国と同様に21%前後で推移しています。

図2 福岡市の家計の推移（勤労者世帯）

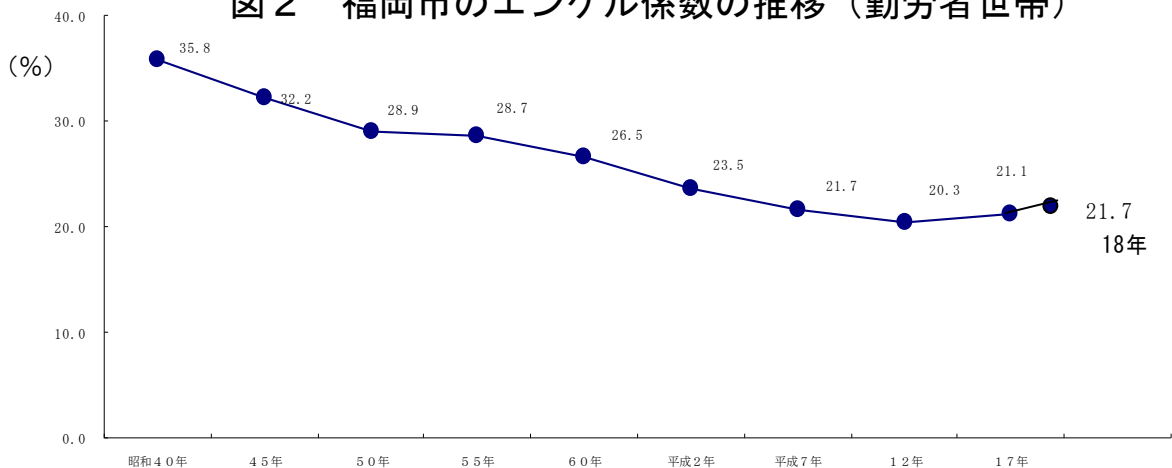


(単位:円)

	元年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年
可処分所得	398,138	396,304	420,147	470,318	456,809	494,826	445,266	433,253	423,876
消費支出	300,538	311,403	319,554	341,188	344,132	348,387	339,792	345,213	330,292
黒字	97,600	84,901	100,593	129,130	112,677	146,439	105,474	88,039	93,584
	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年
可処分所得	428,634	415,130	436,398	425,907	429,994	407,689	409,529	411,332	379,712
消費支出	308,633	334,227	329,000	352,730	335,871	351,246	352,449	320,465	328,143
黒字	120,001	80,903	107,398	73,177	94,124	56,442	57,080	90,868	51,570

*平成11年以前は農林漁家世帯を除く

図2 福岡市のエンゲル係数の推移（勤労者世帯）



4. 家計に見る暮らしの特徴

家計調査では、1世帯当たりの品目別支出金額・購入数量について調査しています。調査集計の品目分類は、500品目、食料品だけでも200品目におよびます。この調査の都道府県庁所在市別の集計結果から各市の暮らしの特徴を見ることができます。

「鶏肉」の支出金額は全国第1位

福岡の郷土料理として有名な筑前煮や水炊きの材料に欠かせない鶏肉ですが、1世帯当たり品目別年間支出金額の都道府県庁所在市別ランキングをみると、福岡市は15,607円で第1位となっています。これは全国の1.4倍、49位の前橋市の2.3倍です。筑前煮の鶏肉以外の主な材料についても上位にランキングしています（下表参照）。

「スポーツ観覧料」「映画・演劇等入場料」の支出金額は第4位

プロ野球やプロサッカーチームなど、地域に密着したスポーツが増えていますが、スポーツ観覧料の支出金額では、福岡市は第4位となっています。上位にはプロチームがある都市が並んでいます。

また、映画・演劇等入場料の支出金額についても福岡市は首都圏並みの10,916円で第4位となっています。

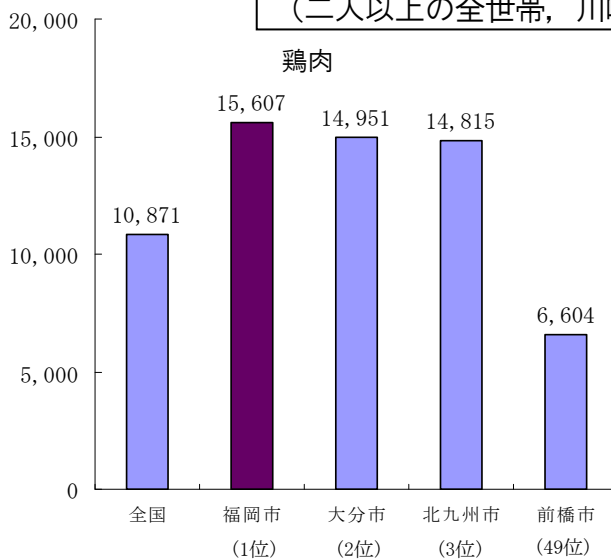
* * * * *

今回の特集は総務省統計局の資料により作成しました。使用した数値は下記ホームページよりご覧いただけます。

《 総務省統計局のホームページ 》

<http://www.stat.go.jp/>

品目別年間支出金額の都道府県庁所在市別ランキング
(二人以上の全世帯, 川崎市, 北九州市を含む) より



1世帯当たり支出金額による
筑前煮の主な材料の福岡市の順位

品名	順位	支出金額(円)
鶏肉	1位	15,607
ごぼう	1位	1,779
さといも	4位	1,557
人参	5位	2,727
れんこん	8位	1,141

スポーツ観覧料

順位	金額(円)
全国	630
1位 甲府市	3,179
2位 仙台市	2,689
3位 川崎市	2,448
4位 福岡市	1,367
5位 宮崎市	1,323
6位 横浜市	1,196
7位 札幌市	1,192
8位 千葉市	1,105
9位 奈良市	1,083
10位 大分市	952

映画・演劇等入場料

順位	金額(円)
全国	6,029
1位 川崎市	12,461
2位 東京都区部	11,697
3位 さいたま市	10,963
4位 福岡市	10,916
5位 宇都宮市	9,888
6位 千葉市	9,544
7位 横浜市	8,767
8位 奈良市	8,318
9位 甲府市	7,566
10位 大分市	7,428